公民館報 こもろ
12月号
発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880
No.850

10月19日(月)
高齢者交通安全教室『サポカー体験』より

❖内容

p.16 市民音楽活動紹介（合唱団小諸ハーモニー／BATH・UP／小諸合唱団／こもろ銭太鼓／小諸市消防団音楽隊）
p.17 『ぼくとわたしの作品』（東小学校）
p.18 学級・教室報告（女性学級／こもろシニア教室）
【ご案内】 1月公民館講座
p.20 『みんなの宝物』（小諸高原美術館・白鳥映雲館／小諸市立藤村記念館）
p.21 12月小諸市文化会館スケジュールほか

編集後記

12月になり、いよいよ2020年も終わりを迎えようとしています。

今年はコロナで始まりコロナで終わると言っても過言ではない記憶に残る辛い年になってしまいました。

旅行に行くこともできず、外食さえもままならず、様々な行事は中止となり、外に出るにも必ずマスクをしていかないといけないという経験したことのない事態に戸惑いながら、恐る恐る生活を続けていかなければなりません。

自分が生きている間にこのようなウイルスによる非常事態が起こることなど想像もできませんでしたが、長い歴史の中で人間とウイルスとの戦いは何度も起こり、その度に大勢の犠牲を出しながらも乗り越えてきています。

コロナの勢いは収まる気配もなく、ワクチンもできてこないような状況ですが、必ずウイルスに打ち勝ち普通の生活に戻ることができると信じもうしばらくは我慢の生活を続けていくしかありません。

来年はオリンピックも控えております。無事に開催され皆が笑顔で観戦できる平穏な世界に戻っていることを願いながら、年の瀬を迎えていこうと思います。

編集委員　山浦　明典

【合唱団小諸ハーモニー】

合唱団小諸ハーモニーです。毎週金曜日の夜練習しています。コロナ騒動で長期間練習を休止せざるを得ませんでしたが、参加可能なメンバーだけで歌いました。

曲名「宮沢賢治の最後の手紙」は、東日本大震災の被災者にエールを送る「歌おう ＮＩＰＰＯＮ」プロジェクトのために書き下ろされました。コロナで不自由な生活を強いられる現在にも通じるものを感じる曲です。

早く正常な日常が取り戻せますように。

【BATH・UP】

私達は、バンドを始めて30年になります。練習は週１回、ライブは小諸の「ガルフ」でやっていて11月には自主版ＣＤをリリースしました。みなさんに楽しんでもらえるように精一杯演奏しました。

小諸で活動しているので、これからも応援お願いします。

市民音楽活動紹介

今年は、新型コロナウイルスの影響で計画されていた「市民音楽祭」が中止になりました。そこで、「市民音楽祭」に替わり音楽活動を広く市民に知っていただくための発表の機会、発表の場として「市民音楽活動紹介」を計画しました。団体やサークル及び小学校の練習風景を㈱コミュニティテレビこもろが撮影して、後日放送します。

（野岸小学校合唱部・管楽部、千曲小学校金管クラブ、東小学校吹奏楽部、美南ガ丘小学校合唱部）

【放送日時】

12/ 5 ㈯　19：00～(11ch)

※再放送

12/ 6 ㈰　 8 ：00～(11ch)

14：00～(11ch)

【小諸合唱団】

現在、コロナの関係でやむなくお休みしているメンバーもいますが、少ない人数の中でも心を合わせ響を合わせ、歌うことの楽しさを持ち続けたいと集まっています。

練習不足はありますが録画に向けての取り組みができたことがひとつの区切りになりました。

【こもろ銭太鼓】

私達「こもろ銭太鼓」は、昨年立ち上げた２年目のグループです。銭の入った２本の筒をいろいろなジャンルの曲に合わせ、振ったり回したりそれは楽しいです。

昨年はボランティア活動も１年目にして36公演、得るものも多くグループも大きく成長できてその達成感に大満足な１年でした。

絆を深め和（輪）を大切に仲良く銭太鼓を続けます。

【小諸市消防団音楽隊】

小諸市消防団音楽隊は、昭和54年「小諸市消防ラッパ隊」として発足、その後「小諸市消防団ラッパ音楽隊」を「小諸市消防団音楽隊」と名を改め、『地域住民の防火意識の向上』、『消防団員の士気の高揚』の目的のもと、年間多くの行事に参加、演奏を行っております。今後とも、音楽隊をよろしくお願いします。

ぼくとわたしの作品 No.318

東　小　学　校

『イタリアの車』

５年１組　石田（いしだ）　康太（こうた）

ぼくは、今回初めて、電動糸のこを使ったので、最初はこわかったです。でも、なれてくると少しの力でこんなにたくさん切ることができる、電動糸のこってとても便利だと思いました。また、車の角を丸く切るのが難しくやすりでなめらかにするのも大変だったけど、満足のいく作品になりました。また、ぼくは２つの思いを込めてこの作品を作りました。

１つ目は、ぼくの大好きな車です。これまででたくさんの車を見てきたので、形は、ぼくの大好きな車にしようと思いました。また、サッカーも好きなのでペン立てをサッカーボールにしました。

２つ目はぼくの好きなイタリアの国旗に塗ったことです。赤、白、緑の明るい色は、見ていると元気がでます。コロナウイルスでみんなが元気になれないときぼくの作品を見て少しでも元気に、明るく、幸せになってほしいという思いが込められています。

ぼくはこれからいろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

『水に浮かぶヨット』

５年２組　石塚（いしづか）　茉依来（まいら）

私がヨットを作った理由は、おふろで牛乳パックを浮かばせて、どうなるのかを実験し、浮かばせたことがおもしろかったからです。そのとき、海みたいに手でなみを作ったら、それでもそのまま浮いていました。その実験から、ヨットを作ることにしました。作ってみたら難しかったです。１番難しかったのはマストでした。救急ばこ、マスト、いすやほも、みんなよくできたのでよかったです。私はこのヨットを気にいって、もっと作ることにしました。でも１番よかったのは、この小さいヨットでした。よかったです。私は、この夏休みをかけ作ったので、だれもこわさないところにおいて、大切にしています。それでこれからも、だれもこわさないところにおいて、大切にして遊ぶときは気をつけてこわさないようにしたいです。またこのようなものを冬休みに作りたいです。

公民館 学級・教室紹介

― 女性学級 ―

『活動を振り返って』

女性学級会長　柏木啓子

今年度の女性学級は新型コロナウイルスの影響を受けて延期を余儀なくされ、5月21日㈭に予定された開講式が7月2日㈭の開催となりました。

開校式に続き行われた第1回講座は、上田染谷丘高等学校非常勤講師入安ムニレさんの「日本とわたし」のご講演で、日本文化のすばらしさを愛して地域の暮らしを楽しまれている様子や母国と日本の学校教育の違いについてお話いただきました。

第2回講座は8月21日㈮、土屋芳美ダンス教室主宰の土屋芳美さんに筋肉作りのストレッチをご指導いただきました。久々に集まった級友たちは笑顔に輝いていて、運動できる今日のこの日を待っていた思いが伝わってきました。

第3回講座は9月9日㈬、10日㈭、こもろ観光ガイド協会の清水季志子さんに「戸の満水を歩く」と題し、郷土の災害の歴史の跡を2日に分けて巡りました。市内中沢川周辺の災害状況のお話を伺い、被災者の魂の安らかなることを祈りました。

第4回講座は9月24日㈭、全日本ノルディックウォークライフマスターの木崎秀臣さんに「正しい歩き方で10歳若返る」と題しポールウォーキングをご指導いただきました。天候にも恵まれ、1回に10歳は少し頑張りすぎですが、気持ちは確実に5歳若返ったかと思います。

第5回講座は10月8日㈭、広州中医薬大学客員研究員・九州大学非常勤講師の中野百樹さんに「古典医学を基礎にした食養生」と題して食べ物と健康についてお話しいただきました。身体の水分を取り除く、食物でむくみを解消する方法や、いつも便利に使っている電子レンジで食べ物を温めるのはNGと教えていただき、是非またお話を伺いたいと思いました。

第6回講座は10月15日㈭「地域の防災対策～体験談から学ぶ～」と題して、昨年の台風19号の被災体験をお話しいただきました。土砂流入の災禍に見舞われた由井さんの「災害は誰にも、何処でも起きる」のお言葉を胸に刻みました。続いて、小諸市危機管理課のご指導のもと、各戸配布の『小諸市防災と暮らしのガイドブック』の防災マップを見ながら避難行動のとり方を実際に考え合いました。

そして最終回の第7回講座は10月29日㈭、「ハーブの調べを楽しむ」と題しハーブメイツのコンサート、最後の学級会、閉講式で女性学級は幕を閉じました。

「あの時は辛かったね」と笑って話せる日が早く来ますように私たちの日々の努力が実りますようにと祈っています。

第7回「ハーブの調べを楽しむ」
ハーブメイツコンサート

「閉講式」運営委員挨拶

― 学級生の言葉 ―

『はじめての女性学級』

小諸に住所を移して1年半が経ちました。昨年春にこの女性学級を知り、色々なジャンルの講座があってなんて楽しそうなのだろう、受講したいなぁと思ったのですが、残念なことに申込期間が終わっていました。来年は是非と、1年間楽しみにしていたのですが、このコロナ禍で中止される催し物の多い中、回数は減っても開催されて本当に良かったです。

長いことペーパードライバーだった私ですが、女性学級に参加するため文化会館に一人で来られるよう運転の練習をして、この7回の講座に出席することができました。楽しかったです。

『女性学級に感謝！』

女性学級にお世話になって10年、本当に様々な分野の講座を受けさせていただき感謝です。歴史、芸術、健康、音楽、文学料理、手芸、運動等々。小諸の歴史をてくてく歩いて学ぶ、黒斑山登山や諏訪、茅野、安曇野中野などへの旅行…あれもこれもと思い出されます。60代だったのに今は70代、体も頭も思うように動かなくなりました。その若いころ（？）運営委員を仰せつかりましたが、そのメンバーで立ち上げたOB会が今も続いています。さすが役員を快く引き受けた人たち、毎回楽しい集いになっています。役員になると負担が重くてと敬遠されがちですが、こんな〝ごほうび〟に恵まれ、女性学級にまた感謝です。

―こもろシニア教室―

『コロナ禍でのこもろシニア教室の運営と特別講座』

運営委員長　牧野和人

公民館活動の中の「こもろシニア教室」は高齢者の皆さんが気軽に参加できる教養講座として定着しており、公民館が主宰し、高齢者クラブ連合会の役員と教室生の代表による運営委員会がすべての講座の運営をしています。令和２年度も昨年度中にすべての講座が決定し、新年度に向けて準備万端開講式を待つばかりでしたが、コロナウイルスの感染拡大によりすべてが中止となってしまいました。やむを得ないこととは言え、準備をされていた講師の先生方には大変ご心配をおかけし深くお詫びを申し上げます。

教室生の皆さんも講座に期待し、顔を合わせることを楽しみにしていたと思います。そんな中、公民館長の配慮で「３回ぐらいは３密を避けてしかも万全の態勢で実施できれば」との思いから特別講座の提案があり、運営委員会を臨時に開催し決定致しました。しかし状況によっては中止もあり得る、なおかつ講師もすぐに対応できる方との条件付きでした。幸いにして状況も悪化せず実施することができました。特別講座開催のいきさつを述べましたが、３回実施した講座は次の通りです。

第１回「落語」

第３回「忘れっぽくならないためのポールウォーキング」

第１回８月28日㈮
「小諸城デジタルアーカイブス」
運営委員長　牧野和人氏
「落語」
林家さんぽ師匠

第２回９月17日㈭
「コロナの時代の高齢者の健康と支援」
小諸市社会福祉協議会　金箱　翼氏
「ＭＡＧＩＣ」
副運営委員長　甘利一造氏

第３回10月２日㈮
「忘れっぽくならないためのポールウォーキング」
株式会社キザキ社長　木崎秀臣氏

参加された教室生の皆さんは延べ１５０名でした。皆さん来年の再会を約束し、「コロナに負けるな」を合言葉に無事終了することが出来ました。

１月公民館講座のご案内

▼小諸市文化センター　TEL0267-23-8880

申込みは平日９：00～17：00。申込み多数の場合は初心者優先とし公民館にて責任抽選いたします。また、申込み少数の場合や新型コロナウイルス感染拡大防止により講座が中止や変更になることがあります。

はじめてのスマートフォン

スマートフォンを「買ってはみたけど…」
スマホライフを新たにはじめてみませんか？

【講師】こもろ情報ひろば

◇開催日　１月29日㈮
◇時　間　９：30～11：30
◇場　所　第一講義室
◇定　員　15名
◇テキスト代　200円
（若干金額が変更する可能性あり）
◇持ち物　スマートフォン
◆申込み期間　12月17日㈭～12月25日㈮

こもろ女性の家 数秘＆カラーセラピー講座

生年月日から自分の才能・本質・使命を読み解く

【講師】数秘カラー上級トレーナー　棚田賀奈子

◇開催日　１月15日・２月19日　３月19日㈮
◇時　間　10：00～12：00
◇場　所　第一講義室
◇定　員　10名
◇テキスト代　500円
◆申込み期間　12月15日㈫～12月22日㈫

こもろ女性の家 家庭でできる東洋医学

食と体と心・いつまでも自分らしく part Ⅱ

【講師】水嶋クリニック　院長

◇開催日　１月19日㈫
◇時　間　15：00～16：00
◇場　所　第一講義室
◇定　員　20名
◇テキスト代　500円
◆申込み期間　12月16日㈬～12月24日㈭

みんなの宝物

小諸高原美術館・白鳥映雪館

『羽衣』

小諸市滝原地区出身の日本画家、白鳥映雪画伯（大正元年（1912年）～平成19年（2007年））は、美人画の巨匠、伊東深水の後継者として、長く日本画界を牽引してきた。

「羽衣」は、平成4年、映雪画伯が80歳の円熟期に描かれた日本の伝統芸能の能楽と日本画が融合した画伯作品の中でも最高位に位置する傑作である。この作品は、奥ゆかしさと共に、静閑で美しく、旋律美を感じさせる。身体が動揺しないまま、摺足（すりあし）で舞台を滑るように移動する能の動きと、手にした扇をかざす天女の舞が見事に捉えられている。金色の天冠（てんがん）の中心部には緑色の宝石が埋め込まれており、より神々しい表現となっている。画伯の得意とする白を透き通るように色を重ねた装束の質感は、まさに空を舞う天女の衣のようである。この作品の制作にあたり、画伯は徹底した写生を行い、イメージを下図に落とし込んでいった。内面に秘めた心の動きを、静かに奥ゆかしく舞う能楽の世界は、画伯の人柄や画風、創作姿勢とも重なり合う部分があるように思われる。

第24回日展に出品され、平成10年より一年間、首相官邸に飾られ、能楽の幽玄な世界を描いた最高峰の日本画として名高い。

【開館時間】 9：00～17：00
※12～3月は9：00～16：00
【休 館 日】 月曜日、12月29日～1月3日
※月曜日が祝日の場合、翌日

小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎0267-26-2070

藤村記念館

「簡素」の木額

藤村が晩年を過ごした神奈川県大磯町の寓居（ぐうきょ）に飾られていた木製の作品です。

長さ約50センチ、幅約17センチ、厚さ約2センチの板に、藤村の字で「簡素」という文字が彫り込まれています。板は斜めに彫られた溝などから水車の一部だったのではないかと思われます。藤村は「簡素」という言葉を座右の銘にしていました。日頃、揮毫の機会には多くこの言葉をあげています。

藤村は明治32年4月に木村熊二の主宰する小諸義塾の教師として赴任してきました。その時の心情を、この地域の人情風俗を写生のように描いた『千曲川のスケッチ』の序に「〈もっと自分を新鮮に、そして簡素にすることはないか〉これは私が都会の空気の中から脱け出して、あの山国へ行った時の心であった。」と記しています。「簡素」という言葉は、藤村の信条を最も直截に表現したものといえます。

この木額は、藤村の死後、妻の静子さんが藤村研究家の伊東一夫先生〈故人〉に提供し、その後、伊東先生の奥様が東洋大学名誉教授神田重幸先生に「しかるべきところに渡して」と託したものです。当館には平成23年、神田先生を通じて寄贈されました。藤村が日々眺めていたであろうこの作品をぜひ一度ご覧いただければと思います。

【開館時間】 9：00～17：00
※12～3月は9：00～16：30
【休 館 日】 12月29日～1月3日
※12～3月第2週まで毎週水曜日

藤村記念館 ☎0267-22-1130

▼大磯町東小磯にある藤村の旧宅。三間の平屋建て。藤村はこの部屋で『東方の門』第三章を執筆中にその生涯をとじた。

小諸市公民館の休館日は祝日の翌日と年末年始です。開館時間は午前９時です。

第22回　小諸市民美術展 及び 作品募集

小諸地域の美術の振興と会員相互の親睦を図り、地方文化の向上に寄与することを目的に、小諸市民美術展を開催します。多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

★美　術　展★　会期　令和３年２月25日㈭～28日㈰　９：00～17：00（最終日は15：00まで）
会場　乙女湖体育館（小諸市文化センター内）※ご来場時は体調管理・マスク着用・連絡先の記入にご協力ください。
★出品要項★　Ⅰ募集作品　日本画・水墨画・水彩画・油絵・押し花・木彫・切り絵・シャドーボックス・版画・その他
Ⅱ募集資格　小諸市在住又は、市内を拠点に活動している美術団体、小・中・高校生
Ⅲ申込み期限　令和３年２月10日㈬必着
【作品搬入・展示】　２月23日（火・祝）　13：00～　　【作品搬出・片付け】　２月28日㈰　15：30～
▼お問い合わせ先　土屋和人　TEL090-5531-4953　小諸市文化協会事務局　TEL0267-23-8880／FAX0267-25-2224

― 小諸市文化会館よりお知らせ ―

「令和３年12月１日～令和４年３月31日 ホール貸館休止となります」

上記の期間で文化会館ホール舞台装置の改修工事を予定しており、文化会館ホールの貸館を一時休止します。
この期間にイベントを開催予定の皆さまには開催時期の変更、会場変更等をお願いすることとなりますがご了承ください。
安全確保のための重要な工事となりますのでご理解ご協力をお願いいたします。

年末年始のお知らせ

12月29日㈫から1月3日㈰まで 全館休館となります。

受付開始日：令和３年１月４日㈪

【公民館・こもろ女性の家】
令和３年３月利用申し込み
【乙女湖体育館】
令和３年７月利用申し込み

小諸市文化会館12月スケジュール

期日	開演	イベント名	主催者	問い合わせ先
３日㈭	10：30	小諸高等学校第24回卒業演奏会	小諸高等学校	0267-22-1696
５日㈯	10：00	第１回お米コンクールこもろ＆第２回ＪＡ佐久浅間一番うまい米コンテスト	小諸市 ＪＡ佐久浅間 ＪＡ佐久浅間米穀専門委員会	0267-22-1700
13日㈰	14：00	第16回エトワールダンススクール発表会	エトワールダンススクール	0267-23-2937
17日㈭	―	第32回小諸商業高等学校合唱コンクール	小諸商業高等学校	0267-22-0103
19日㈯	９：00	生活発表会	みすず幼稚園	0267-22-1138
23日㈬	13：30	小諸市介護予防ささえ愛サポーター研修	高齢福祉課	0267-22-1700

受付開始日　【公民館・こもろ女性の家】　令和３年２月利用予約12月１日㈫（貸出備品含む）
【乙女湖体育館】　令和３年６月利用予約12月１日㈫